

注文出荷制 特集&PICKUP

 FAX0120-999-660

人文書・文芸書 ご担当者さま (ぜひ皆様でご覧ください!)

editorialrepublica  共和国

新しい出版社、 共和国の樹立を お知らせいたします。

創業最初の本として、藤原辰史さん(『ナチスのキッチン』)のエッセイ集『食べることを考えること』、そして数々の名翻訳で知られる都甲幸治さんのブックガイド『狂喜の読み屋』の2冊を予定しています。

はじめまして、株式会社共和国と申します。出版という産業そのものの価値が問い直されている歴史的な逆境のさなかに、まったくの徒手空拳で踏み出すことになりました。

おもなコンセプトは、「文化批判」です。批評、思想、音楽、映画、絵画、美術、精神分析、コミックをはじめとするジャンルを超えた「文化(的なもの)」を通して、この現代社会と横断的/歴史的/批判的に向き合って参ります。

ひとり出版社なので、身軽に、しかし経営的にも体力的にも無理をせずに等身大で本を出し続けることが、ささやかながら第1の目標です。そして、著者や書店さまをはじめ、いまのこの社会にあきたらなく感じているさまざまな優れた才能と、本を世に出す過程で価値観を共有しながら、いずれこの茫漠とした世界のなかに少しでも多く自分たちの居場所を占拠してゆくことが、第2の目標です。

わたしたちの想像力をかたちに、やがて来たるべき世界に、着実に居場所と自由を占拠していくつもりです。どうか物心両面でのご協力ご声援をお願いいたします。

6月に以下の2冊を同時にお届けできるよう、鋭意準備中です。どうぞご期待ください! (代表・下平尾 直)

★藤原辰史『食べることを考えること』

四六変判並製 / 288頁 / 予価 2200円+悪税 / 6月刊行予定
ISBN978-4-907986-01-8

わたしたちの食べものは、どこから来てどこへいくのか——。『ナチスのキッチン』によって第1回河合隼雄学芸賞を受賞した著者が、「食」と「農」の固定概念を脱殻しつつ、その過去と行く末に思いをめぐらせた粒選りのエッセイ集。

★都甲幸治『狂喜の読み屋』

四六変判並製 / 312頁 / 予価 2400円+悪税 / 6月刊行予定
ISBN978-4-907986-00-1

読んで読んで読みまくろう! 町田康、筒井康隆、円城塔からソング、ピンチョンまで——。ベストセラーとなったジュノ・ディアス『オスカー・ワオの短く凄まじい人生』の訳者にして、いまもっとも注目を浴びるアメリカ文学者による、めくるめくブックガイド。



共和国の商品は、トランスビューの取扱で納品いたします。直接取引の条件は、トランスビューの商品とすべて同じです(随時返品可)。取次ルートの場合は、太洋社経由(買切・返品不可)になります。トランスビューとのお取引がないお店からのご注文は小社からご連絡します。ご注文は1冊からお気軽にどうぞ。

貴店名

ご担当

藤原辰史
『食べることを考えること』

冊

都甲幸治
『狂喜の読み屋』

冊